

奉 位

◆登寿ホールディングス



が神社清掃
12日、帯広神社と十勝護
国神社の境内で行った。宮
坂建設工業(帯広、宮坂寿
文社長)などグループ企業
6社から247人が参加し
て活動した。写真。

1995年から毎年続け
て今年で24回目。参加者は
ほとんど焼きの灰処理や社務
所上の清掃、ほろろで落ち
葉やごみを集めるなどの活
動を手分けして行った。

宮坂建設工業の加藤兆基
専務は「建設業は安全が第
一。日頃守られていること
への恩返しのような気持ちを持
て行っている」と話してい
た。続いて帯広神社で安全
祈願を行った。

宮坂建設工業が神社で清掃奉仕活動

日ごろの感謝込め作業

247人が参加し丁寧

【帯広発】宮坂建設工業 お世話になっている地域へ
(株)帯広、宮坂寿文社長) の恩返しのような気持ちを含め
などグループ各社は十二 て、広い敷地内のごみや枯
日、帯広神社と十勝護国神 葉などを丁寧に拾い集め
社で毎年恒例の清掃奉仕活 た。

動に取り組んだ。総勢百 同社は、創始者の遺訓で
四十七人が参加し、日ごろ ある「世の為人の為につく
せ」の精神から、数多くの
地域貢献活動を実施してい
る。帯広神社と十勝護国神
社の清掃奉仕活動は、七年
から毎年この時期に行っ
ており、ことしで二十四回
目を迎えた。

天候にも恵まれたこの日
は、宮坂建設工業、(株)平田



広い敷地内のごみ
を掃した

分かれて参道や境内
などを清掃。中
でも、境内の一角に堆
積したどんと焼きの
灰などの処理は大任
事で、若手職員が中
心となり、ビニール
袋に灰をスコップで
入れる作業を懸命に
行っていた。

清掃活動の終了後は神
前で安全祈願も行われ、こ
とし一年の無事故・無災害
を参加者全員で誓い合っ
た。

建設、(株)松本組など六社か
ら総勢二百四十七人が参
加。作業に先立ち、あいさ
つした戸松義博副社長は、
熱中症やけが・事故に注意
するよう呼びかけた。

このあと、各グループに

**帯広神社の
境内きれいに**

宮坂建設工業

【帯広発】宮坂建設工業
(本社・帯広)は12日、
帯広神社で清掃奉仕活動



47人が参加し、境内に
散乱した枯れ枝などを拾
い集めた。写真。

1995年に始めた活
動で24回目。隣接する十
勝護国神社にも参加者を
送って毎年きれいにし
ている。戸松義博副社長は
「熱中症やけがに見舞わ
れないよう安全に作業し
てほしい」と開始前に激
励した。

ごみ袋を手に参加者は、
境内のごみを拾い集め、
どんと焼きの灰も処分し
た。終了後は札幌支社か
らの参加者も合流し、本
殿で安全祈願もした。

をした。平田建設(同・
士幌)、松本組(同・函館)
などグループ6社から2